

2008 年度 小委員会活動成果報告

(2009 年 3 月 8 日作成)

小委員会名	空間骨組構造小委員会		主 査 名：川口健一 就任年月：2008 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (シェル・空間構造運営委員会)		委員長名：和田 章 主 査 名：大森博司
設 置 期 間	2008 年 4 月 ~ 2012 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>空間骨組構造を対象とし、形態、静的、動的挙動をまとめ、耐力、変形の評価方法を確立し、現行の性能設計に対応した設計 recommendations を作成することを目的とする。</p> <p>初年度：「ラチスシェルの座屈と耐力」の出版をめざし、最近の空間骨組構造の座屈と強度についての研究を収集する。</p> <p>2 年度：「ラチスシェルの座屈と耐力」を出版し、講習会あるいはシンポジウムを開催する。</p> <p>3 年度：新素材を用いた空間骨組み構造、リユース可能な部材や構造、展開構造骨組み、間伐材などを用いた環境配慮型の骨組み構造、宇宙構造としての空間骨組み構造など、新しい時代ニーズにより出現しつつある新しい空間骨組み構造とそのあり方に関する調査研究を開始する。</p> <p>4 年度：新しい骨組み構造の調査を継続すると同時に、コロキウムあるいは研究集会などを開催する。</p>		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無 川口健一(東京大学生産技術研究所)、中澤祥二(豊橋技術科学大学)、萩原伸幸(大同工業大学)、植木隆司(巴コーポレーション)、小河利行(東京工業大学)、奥出久人(竹中工務店)、加藤史郎(豊橋技術科学大学)、坂 壽二(大阪市立大学)、杉崎健一(サットコンサルタント)、谷口与史也(大阪市立大学)、藤田正則(日鉄住金鋼鉄)、藤本益美(大阪市立大学)、古川忠稔(名古屋大学)、山本憲司(鹿児島大学)		
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2008 年度予算	80,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 「ラチスシェルの座屈と耐力」の各章原稿の編集作業を進め、査読原稿を完成した。 2. 最近の空間骨組構造の座屈と強度についての研究を収集した。
委員会活動の問題点・課題	